



学力の向上をめざした授業づくり

向丘中学校区では、子どもたちが自分で考え、課題を見つけ、友だちと協力して課題を解決する力を育むために、「自ら考え学び合う授業づくり」を小中学校合同で取り組んでいます。

自ら考え学び合う授業づくりに向けて



7月4日（木）に、高島小学校で3年生理科の授業研究を行いました。「こん虫などの動物は、どんなところをすみかにしているのか」という課題を解決するために、教室ではなく運動場にホワイトボードを持ち出し授業を行いました。6人グループで芝生の上にある12色の色テープを集める活

動から、こん虫などの動物は見つかりにくい場所をすみかにしていることを協働的に学びました。教室で知識として学ぶのではなく、実際に自らの感覚を使った体験的活動を通した学びでした。授業後は、参観した先生方による研究協議を行い、日本体育大学の角屋教授から指導講話をいただきました。

授業づくりについて小中合同研修

6月12日（水）に、今年度第1回目の小中合同研修会を行いました。今年度の取組の方向性を確認した後、「学力向上プロジェクト」「生徒指導プロジェクト」「児童生徒支援プロジェクト」から今年度の活動方針や取組内容について報告がありました。そして水呑小学校から「子どもたちが持っている力を自分でさらに伸ばそうと思える評価方法」についての取組報告がありました。また、不登校未然防止に向けての研修を行いました。

生徒会と児童会の合同行事

校区の小中学生がともに力を合わせてより良い地域づくりに貢献しようと、生徒会と児童会が中心になり取組を行っています。それが、「あいさつ運動」と「清掃活動」です

小中合同の清掃ボランティア

7月6日（土）、校区合同清掃ボランティアとして、高島小学校の児童と中学生であんず広場を、水呑小学校の児童と中学生で麒麟公園の清掃を行いました。小学生と中学生で分担協力しながら、一緒にゴミ拾いや草抜きなどを行い、どちらの公園もととてもきれいになりました。2学期は11月2日（土）に実施する予定です。



月に一度のあいさつ運動

毎月第2水曜日を「校区あいさつの日」として向丘中学校生徒会役員が高島小学校と水呑小学校に行き、各校の児童会役員と一緒にあいさつ運動を行っています。1学期は6月12日（水）に水呑小学校で、7月10日（水）に高島小学校で行いました。今後も、校区全体に気持ちの良いあいさつと笑顔を広げていきたいと思っています。

